



海と空 冬号

理念 「恕・和・誠」

恕の心 | 私たちは、つねに思いやりの心で療育します

和の心 | 私たちは、利用者、利用者家族、職員同士がつねに心をかよわせ、わきあいあいとした療育環境を作ります

誠の心 | 私たちは、つねに安全を考え、利用者に信頼していただけるよう誠実な心で接します



利用者の作品



「新年の挨拶」

ときわ呉 施設長 三宅 進

ときわ呉も満一年を迎えます。利用者様の皆様にはこの一年いかがでしたでしょうか。少しでも利用者様の安心や幸せに貢献できていればと思います。

さて、お正月休みの間、西日本重症児施設協議会広報の木実谷先生、末光先生の報告を読みました。私は重症児者施設の問題が国でどのように検討されているか知らなかったのですが、平成二十一年七月の衆議院選挙で民主党政権となり、障害者制度改革推進本部が設置され、十六名の委員のうち十五名までが重症児施設に入所させることは人権侵害であると言ったそうです。民主党政権がどのような人達を集めたのか興味深いところでありませんが、この結論だけ読むと違和感を感じざるをえません。昨年、自民党が政権を奪回しましたが、またどのようになるのか注意して見守っていきたいと思います。

匡の議論がどうあれ、私が医療現場で感じてきたことは、重症児者の医療、介護をすべて在宅で行うことは簡単でなく、利用者様に安心、安全な生活を保障するためには、施設は絶対必要だということです。施設入所だけにこだわらず、レスパイト入院、ショートステイ、通園事業を利用しながらサポート体制を作り上げていくことが大事だと考えています。

今年はい入院利用者様の療育をさらに充実したものに、我々のスキルを向上させた上で、在宅医療介護に対する準備をしていきたいと思います。